

九州運輸局メールマガジン

平成 21 年 10 月 30 日 第 55 号（発行日：毎週金曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンのご利用ありがとうございます。

#### 目次

- 1．九州運輸局ホームページアップ情報（10月23日～10月29日掲載分）
  - トピックス
  - プレス発表
  - 入札・契約情報
  - バス・タクシー・トラック
  - 九州グリーン物流
- 2．お知らせ
  - 運輸安全マネジメント実施要領の改正
- 3．募集中
  - 省エネ促進フォーラム 2009 in 福岡
- 4．現場レポート
  - 「内航船が停まる日が・・・」
- 5．九州運輸局セミナー
  - ～新たな光を見つけるために～
- 6．リレーコラム 交通環境部長 小宮 範幸
- 7．編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】（10月23日～10月29日掲載分）

#### トピックス

- ・「オンパク」発祥の地で「オンパク」を学ぶ
- ～「観光カリスマ塾」別府市で開催～（10月26日）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file21\\_3/file211026.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file21_3/file211026.pdf)

#### プレス発表

##### 《交通企画》

- ・～使いやすい公共交通をめざして～

公共交通をより上手に利用して頂くために、天神地区の公共交通マップを作成しました！！（10月23日発表）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091023\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091023_1.pdf)

##### 《自動車》

- ・平成 21 年自動車関係功労者国土交通大臣表彰受賞者名簿（九州運輸局管内分）
- （10月26日発表）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091026\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091026_1.pdf)

##### 《海事》

・日・韓航路 韓国人旅客数が半減！  
～平成 21 年度上半期（4 月～9 月）日韓航路旅客輸送実績～（10 月 27 日発表）  
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091027.pdf>

入札・契約情報  
・企画競争実施公示（10 月 26 日分）  
[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU\\_KOUJI](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI)  
・企画競争結果公表（10 月 28 日分）  
[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku\\_kekka/091028.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/091028.pdf)

バス・タクシー・トラック  
・タクシー事業関係公示等（「27 番」追加）  
[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file13\\_4.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13_4.htm)

九州グリーン物流  
・メールマガジン 31 号  
[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu\\_green/mail/pdf/mail\\_magazine/No\\_31.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu_green/mail/pdf/mail_magazine/No_31.pdf)

## 【お知らせ】

### 自動車運送事業に係る運輸安全マネジメント実施要領の改正

国土交通省では、事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会でとりまとめられた「事業用自動車総合安全プラン 2009」を踏まえ、自動車運送事業に係る運輸安全マネジメントの一層の浸透・定着により事業用自動車の輸送の安全の向上を図るため、自動車運送事業における運輸安全マネジメント等の実施要領等を次のとおり改正しましたのでお知らせします。

#### 1. 改正の概要

##### （1）安全マネジメントの評価対象の拡大

国は、従来行っていた、安全管理規程等義務づけ事業者（バス 200 両以上、トラック・タクシー 300 両以上）に加え、次の事業者について安全マネジメント評価を行うこととする。

- ・乗合バス 100 両以上
- ・都市間を結ぶ高速バス及び高速ツアーバスの事業者
- ・第 1 当事者の死亡事故を引き起こした事業者
- ・危険物の大量漏洩事故を引き起こした事業者

##### （2）第三者機関による安全マネジメント評価の実施

第三者機関（安全マネジメントについての知識経験を有する職員が相当いる等の要件に該当する者）も安全マネジメント評価することができることとし、その場合には、国が行った評価と同等に扱う。

この措置は、試行的に行うものであり、その実施状況や効果等を検証した上で、自動車以外のモードについても導入することを検討する。

（注）第三者機関として、「独立行政法人自動車事故対策機構」を認定。

##### （3）事業者向け安全マネジメント手引の改訂

わかりやすく、具体的な取組例を入れて改訂。

トラックの元請事業者に対し、継続的關係にある下請事業者に安全管理体制の構築・改善を要請・指導するよう求める（安全マネジメント評価の対象にする）。

#### 2. 施行時期

平成21年10月16日から施行

(安全防災・危機管理調整官)

### 【募集中】

省エネ促進フォーラム 2009in 福岡

九州運輸局では、地球温暖化問題への理解を深めるとともに、人と地球にやさしい運輸を目指すため情報を共有し、今後の省エネ対策の参考としていただくことを目的として、11月16日(月)に福岡市のホテルセントラーズにおいて「省エネ促進フォーラム 2009in 福岡」を開催します。

福岡大学法学部の浅野教授の基調講演に始まり、グリーン物流や省エネ対策の取り組み事例紹介など盛りだくさんのプログラムとなっています。

参加ご希望の方は、次のURLから所定の用紙をダウンロードしてご記入のうえファックスにて事務局までお申し込みください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file035/file035.pdf>

(交通環境部環境課)

### 【現場レポート】

「内航船が停まる日が・・・」

～佐世保地方総監部において海上自衛官を対象とした内航海運合同企業説明会の開催!!～

四面を海に囲まれている我が国にとって、海上輸送は国民生活の安定のために大変重要な輸送手段です。九州運輸局では、海上輸送のために必要な船舶の運航に従事する船員を対象とした行政を所掌しています。

現在、外航海運においては、外国人船員との混乗等による日本人船員の減少、内航海運においては高齢化の進展と後継者不足の問題を抱えており、船員の育成・確保が急務となっています。内航船と呼ばれる日本国内での輸送を担っている船舶も、いずれ船員不足により「停まる日がくるのでは」とまでいわれています。

こういった状況の中、船員の確保・育成対策の一つとして10月27日に佐世保市内にある海上自衛隊佐世保地方総監部において、内航海運事業を行っている事業者7者と退職を間近にしている、或いは早めに再就職先を検討している海上自衛官51名との間で、互いに直接話をし、再就職への準備段階として疑問や不安に思うことを尋ねることのできる説明会を開催しました。

自衛官の皆さんは、豊富な海上経験者とはいえ、内航海運業界のしくみや船内での生活、組織、労働状況を初めて耳にする方も多く、今までの世界とは違う点など、より現実的な話を聞いて海運業界をグッと身近な業界として認識できる機会となりました。

また、海運事業者の皆さんも前述の船員不足の危機的な状況を回避するために、積極的にPRを行われ、自衛官の皆さんの海上経験やすでに取得されている海

技資格を踏まえて、効率化の進む船内運航組織の中、即戦力を求める状況下での船員確保に向けて強い意欲が感じられました。

九州運輸局としても就職相談ブースを設置し、船員の就業状況や求人状況、海技資格制度や船員職業安定所としての役割、手続き等その窓口活用の説明をおこない、退職年齢の比較的早い海上自衛官の皆さんが、再就職の職業として船員を選択され、運輸局の紹介等によりスムーズな再就職ができるよう努めました。

成果は今後の話ではありますが、求人、求職の二つの面から、今後とも雇用の開拓、拡大を図り、内航船が停まる日が来ないよう事業者、各海運関係団体、行政機関が連携して対策に取り組む必要があります。

(佐世保海事事務所)

### 【九州運輸局セミナー】

～新たな光を見つけるために～

日本の観光は今大きな変化の渦中にあります。かつては定番の観光地があり、人々はおさまりの観光ポイントを訪れるだけで満足していました。しかし、人々の価値観が多様化する中で観光への興味対象の変化は旅行の形態や行動の変化となって現れています。

このような中、観光庁では自治体の枠を越え、観光地を相互に連携させ国内外の観光旅客を対象に二泊三日以上の滞在に対応可能なエリアを形成し、滞在型の観光を促進する満足度の高い魅力ある観光地の整備を行うため観光圏整備事業に着手しました。滞在型観光の振興は、交流人口の拡大による都市と地域との相互理解の増進のみならず、地域経済の活性化のためにも不可欠です。

認定を受けた観光圏では

宿泊魅力向上事業：おもてなしの向上、泊食分離、地産地消等宿泊施設を中心に創意工夫あふれた取り組みを行う。

観光資源活用事業：体験、交流、参加型の観光など観光メニューの充実を図る。

移動利便増進事業：鉄道、バス、タクシー、自転車等観光圏へのアクセス、観光圏内における移動について利便性を図る。

情報提供充実事業：観光旅客の旅行目的及びニーズを踏まえメリハリのある情報提供を行う。

の4つを柱とした事業に取り組み、自然、歴史、文化等密接な関係が認められる一体となった区域を作り、区域間の相互連携によって観光旅客の周遊、回遊、滞在を促進する滞在型観光地の形成を目指しています。現在全国で30地域が観光圏の認定を受けていますが、九州では

『風と歩く 光に逢う 彩に酔う 阿蘇くじゅう時遊空間』阿蘇くじゅう観光圏

熊本県阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、大分県竹田市

『東九州東方見聞録 泉と浦の物語』・・・新東九州観光圏

大分県別府市、由布市、大分市、臼杵市、津久見市、佐伯市、宮崎県延岡市

『海からはじまる西 遊記 島・海・ひとが紡ぎだす、ぐるり西海悠・時間』  
・・・平戸・佐世保・西海ロングステイ観光圏

長崎県平戸市、佐世保市、西海市、鹿町町、江迎町

『あらゆる自然の恵みがここにある ここにしかない歴史と風土がある 五感と自分に響く旅 雲仙天草』・・・雲仙天草観光圏  
長崎県島原市、雲仙市、南島原市、熊本県天草市、上天草市、苓北町の4つの観光圏が各地域の特性を活かし、国内外の観光客の誘客、受け入れ体制の整備に取り組んでいます。

九州運輸局では観光圏整備事業以外にも九州の遺産を観光資源として活用し観光振興及び地域振興を図る九州観光遺産セミナーや、地域のリーダーとして観光地づくりに成功した観光カリスマによる人材育成を目的とした観光カリスマ塾、地域を選定し、有識者等で組織されたアドバイザー会議を活用し魅力あるまちづくりを行うコンサルティング事業等に取り組んでいます。

観光は業種が多岐にわたり裾野の広い産業であることから、観光資源を発見し、磨き上げ、そこへ多くの観光客を呼び寄せることは地域で関連する産業を振興し、そこに地域住民の雇用を拡大することにもつながります。  
観光地域振興課では今後とも観光施策を通じ地域振興に取り組んで参ります。

(企画観光部観光地域振興課)

## 【リレーコラム】

交通環境部の小宮です。近頃、自己紹介を書かされることが多くなり、趣味・特技の欄には、「競馬などギャンブル全般」と書くわけにはいかず、とりあえず「読書」と書いています。

その読書について、この交通環境部にきて、20年～30年ほど前に読んだ本で読み返しているものがあります。  
一冊目は、人口増加問題についてのマルサスの「人口論」です。内容を要約すると「食糧生産の増加は算術級数的だが、人口増加は幾何級数的である。つまり、人口増加に対し、食糧の増加は常に不足する。」という様なものです。そして、二冊目は、エネルギー・地球温暖化問題についての、ジェレミー・リフキン(米国、レーガン大統領のブレーンの一人)の「エントロピーの法則」(残念ながら絶版となっています。)です。内容は、「熱力学の第二法則について、人類の利用可能なエネルギーの総量は有限であり、物質とエネルギーは一つの方向のみに、すなわち使用可能なものから使用不可能なものへ、あるいは利用可能なものから利用不可能なものへ、あるいはまた、秩序化されたものから、無秩序化されたものへと変化する。使ったエネルギーは二度と使用できない。」という様なものです。なお、熱力学の第一法則が、「宇宙における物質とエネルギーの総和は一定である。」という、有名な「エネルギー保存の法則」です。

現代社会では、何億年もかかって蓄積された化石燃料を、わずか数百年で使い切ってしまうおとしている事への歪みが、地球温暖化問題、異常気象などとして発生しています。次世代の人達に、使用可能な資源を少しでも多く残すためにも、Sustainable(環境を破壊せず持続可能)な社会の形成が望まれています。交通環境部の仕事が、その一助にでもなれればと思っています。

季節は、まさに読書の秋です。私のお薦め本は、ドストエフスキーの「カラマゾフの兄弟」と井上靖の「孔子」です。

(九州運輸局交通環境部長 小宮 範幸)

【編集長だより】

今週もメールマガジンをご覧いただきありがとうございます。早いもので晩秋を迎える頃になりました。11月は大きな祭りが九州の各地で開催されます。私の乏しい知識ですが「唐津くんち」「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」「おはら祭」など誰でも知っている有名な祭りです。先日島根県の津和野の近くにある名前も知らない小さな村の祭りを偶然見ることができました。村にある小さな神社の境内で観客も村の人が中心の百人足らずでしたが、金色に輝く華やかな衣装を着た子供達を主役とした、五穀豊穡を祝う神楽の奉納でした。素朴な中にも古い伝統と格式を感じさせるほのぼのとした余韻が残る祭りでした。盛大な祭りもいいのですが、地元の神社や地域の人達に引き継がれてきた小さな秋祭りもいいなと感じた一日でした。

皆様からのご意見・ご要望等を募集しています。下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次のURLに掲載しています。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/top.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html)